

フロンティア

あべ晋三後援会会報誌

FRONTIER



12号



日本国の将来から党の運営、そして今の心境を語る!!

参議院選挙の結果の総括と、幹事長としての責任をとられた理由についてコメントをお願いします。

先般の参議院選挙に対しては、51議席を確保することが出来なければ政治家として責任をとると言う重たい約束をしておりました。結果として現有議席50に対して、1議席を下回ってしまいました。定数が126から121議席と5議席減る中で、与党としては自民党が1議席減らし、公明党が1議席増やし、結局変わらない結果ではありましたが、政治家の言葉は重く、その責任をとるべきと考え、幹事長という職を辞するという決断をいたしました。総理からは是非幹事長代理という形で党改革に専念してほしいという打診があり、結局代理ということの方が党改革がやり易いということですので、これを受け、幹事長辞職というわがままを通して頂きました。これからはしっかりと党改革を実現させることで責任を果たしてゆきたいと考えています。

幹事長としての二年を振り返っていかがでしたか。

幹事長としての私の1年間は、選挙に始まり選挙に暮れたという印象でした。衆議院の選挙において、何とか過半数を守ることが出来ました。240議席に対して、改選後は249議席と9議席上回ることが出来たということに対しては、責任を果たしたと考えております。またその後、行われた4月の補欠選挙が3選挙区ありましたが、3戦全勝することが出来ました。特に埼玉8区の補欠選挙では、わが党の候補者が選挙違反で逮捕され、それを受けての選挙となりましたので、自民党にとってはき



埼玉8区補選の応援

わめて厳しい状況でしたが、初めて行った党主導の公募方式で81名の方々に応募して頂き、その中から優れた候補者を選ぶことが出来、そして勝利を得たことは、自民党にとって新しい未来を切り開くことが出来たと思っております。しかしながら参議院選挙においては勝利を治めることが出来なかったわけで、その反省点を踏まえて次の選挙に備え、常勝軍団の自民党にしてゆかなくてはならないと考えております。

また私が党の幹事長に就任中の今年は、ちょうど党結成50周年の前の年にあたりました。そこでもう一度党としての目指す方向、また日本をどういう国にしてゆくのかということとを改めて国民の皆様を示すため、基本理念委員会を設立し、新綱領、新理念を来年の50周年までに発表出来るよう、その原案を作ることが出来ました。内容はわが国の文化、伝統、歴史を踏まえた骨太なわが党の骨格を示すことが出来たと思っております。

そもう一つは、党の改革検証推進委員会を作ることが出来たことです。この委員会において、21世紀を担うにふさわしい政党としての改革案を提出いたしました。その中で、例えば選挙では候補者選定委員会を作り、新しい優秀な人材を適材適所に登用し、開かれた党としての仕組みを作つてまいりました。また橋本派への1億円の不正献金問題がありま

党改革検証推進委員会について街頭演説を行う



したが、これに関しては国民の皆様にお詫びを申し上げなくてはなりません。党改革においても政治資金の透明化、適正化についての改正案を示しました。こうした改革、改正案に対しては必ず実行してゆきたいと考えています。これらのことを取りまとめることが出来たことは大きな成果であつたと自負しております。

年金及び社会保障制度の将来はどうなるのでしょうか。

年金改革については、先の参議院選挙において訴えてまいりましたが、残念ながら国民の皆様には理解して頂けなかったと思っております。しかし社会保障制度をどうしてゆくのかわめて重要な問題です。

現在84兆円の社会保障給付費が何もしなければ2024年には176兆円に膨れ上がります。支える人口は当然減つてゆきますので、給付と負担のバランスの適正化を行わなければなりません。その最初が年金制度の改革案でした。更に介護、医療

保険制度の改革を行わなければ持続可能な制度とは言えません。その方法を、どれだけを保険料で負担していただき、また税金を投入するのか、このことに関しては与野党の壁を取り払って議論し、納得しなければ到底国民の皆様には理解して頂けないものと思っております。ひいては保険料という形で徴収することもそぐわないと考えています。そして将来において安心を保証する仕組みを必ず確立してゆきたいと思っております。

また給付と負担の調整とともに、この会報誌においても別途ご説明申し上げておりますように『健康フロンティア戦略』、つまりなるべく病気になるらず、また介護を必要としない健康な老後がおくれるように治療から予防に力を入れるという研究に、国としても全面的にバックアップをしてゆきたいと思っております。

北朝鮮外交・拉致問題の今後についてお聞かせください。

「昨年、5人の拉致被害者の方々が日本の土を踏むことが出来ました。そしてこのご家族の皆様は、ご存知のとおり今年の5月22日に5名の子供たちが日本の土を踏み、曽我さんのご家族も最終的には日本に帰ってくる事が出来ました。このことに関しては胸を撫で下ろすとともに、総理の北朝鮮外交の成果であったと思っております。」

しかしながら未だ10名の安否不

明者に関しては未解決で、北朝鮮がこれらの方々の再調査に対して、誠実に約束を履行しようとはしておりません。私は次の日朝交渉までに、誠意ある対応が示されなければ経済制裁も検討すべきであると思っております。この様に対話と圧力の姿勢をもつて、この問題を解決しなければいけません。相手の善意のみを期待していたのでは問題は解決しません。これが対北朝鮮外交の現実であり、私もこの10年間、この問題に関わつてきて学んだことでもあります。

北朝鮮問題に関しては、拉致問題だけではなくミサイル及び核問題があり、国際社会としっかり連携を取りながら北朝鮮に核武装をさせない、またミサイルの配備を廃棄させることも実現させなくてはなりません。

いずれにしてもこれらすべての問題を解決させなくては、彼らは国際社会に参入出来ず、その結果、北朝鮮は国を建て直すことが出来ないというところを、我々が一貫した姿勢を貫くことで彼らにわからせなくてはなりません。私も拉致対策本部長という立場から、党として経済制裁法案を3本成立させました。圧力及び制裁、そして対話という両輪で彼らの政策を変えてゆきたいと思っております。

合併により、下関市・長門市と二つの市が誕生しますが、両市の未来についてお聞かせください。

私の選挙区は下関市、豊浦郡4町、

長門市と津浦郡3町と2市7町でした。これが合併によって下関市と長門市になります。今なぜ国が市町村合併を進めているかと申しますと、地方分権を進める上で、その受け皿が充分な態勢を取れるようにするためです。更に、行政改革を進める上でも市町村合併が必須です。しかしながらこれによって住民へのサービスが低下するようなことがあつてはなりません。

下関市と長門市は、双方とも全国に通用するブランド力があると思います。長門市は豊かな自然と海産物資源、農産物があります。加えて観光資源も豊富なため、全国各地から長門を訪れるようになっていきます。国が進めている都市と農村の交流等の政策を利用し、市民が更なる創意工夫をすれば、大きな未来が開けてくると信じております。

下関市は、景気は依然厳しい状況にはありますが、時代を捕らえたIT関連の事業も起こりつつあります。またアジアに向けた港湾能力強化として、人工島も着々と整備されています。国際港としての明るい未来、加えて下関ブランドの農林水産物もあります。またその中で特区の試みにも取り組んでおりますし、それを通して下関の個性を生かした、新たな産業を誕生させることも夢ではないと思っております。

今回の市、町の合併によって伝統ある2市が、それぞれ個性を生かし

た地域興し、地域再生によって飛躍的に発展する基盤となるよう、私も全力を尽くしてゆきたいと思っております。

最後に地元の選挙においては、御本人不在の間、活躍をされた昭恵夫人に何か一言ございますか。

昨年の衆議院選挙も、私は正確には半日しか帰れませんでしたし、また実弟である岸信夫の選挙においてもほとんど帰ることは出来ず、家内任せになってしまいました。街宣車に乗って選挙区を回り続けるのは肉体的にも大変ですが、本当に良くやってくれたと思っています。家内が地元でしっかりとやってくれたので、私も安心して全国各地の候補者を応援することが出来ました。二人の時には面と向かつて「ありがとう」とは照れくさくて言えませんでしたので、この紙面を借りて「ありがとう」と言いたいと思います。

(平成十六年十月十二日)



始めたその真意と方向性を示す！ 於 昼食セミナー〈赤坂プリンスホテル〉

平成16年7月28日

FRONTIER SPECIAL

文明史からみる日本の再生——《中西教授》

私は大学では国際関係という学問を教えておりますが、若い学生諸君にいつも言い聞かせていることは、日本という大きな基軸を持つて世界を見なければいけないということだと思います。ところが、このことは戦後の教育の中では重要視されなかったために、外国の問題には詳しいが、日本のことは知らないという国際問題の専門家が出てきています。大事なことは日本人としての自覚を持ち、世界情勢に対して日本人としての精神（アイデンティティー）と、それに対して適切な戦略を立ててゆくことなのです。

世界には、いろいろな歴史や文化を持った国があります。そして今までは、国単位でものを考えることが多かったのですが「二十一世紀はグローバル化の時代だ。国境がなくなつて世界は一つだ。」こんな表現をよく耳にしますが、世界が一つになると、文化の違い、歴史・伝統の違いというものはどうなるのでしょうか。ボーダーレス経済、情報の共有化という面で世界が動けば動くほど、その国の歴史や文化によつて根付いた価値観というものが必要になつてまいります。

こうした観点から日本という

国を考えてゆきますと、まず一般の参議院選挙の前に、出生率が二・二九になつた、もう年金の将来性はないのじゃないかという議論をしておりました。しかし本当に問題なのは年金制度ではなく、日本人が減ること自体が問題なのです。

先進国になつたあと、世界の経済大国と言われた国がどのような経路をたどつたのでしょうか。「坂の上の雲」を目指して駆け上がったという運命をたどつたのか、これをしっかりと勉強しておかなければいけません。その中で見えてきたことは、先進国というのはほんでもない厳しい立場であり、坂の上の雲を登りつめて先進国になつたら、大変なチャレンジが次から次へ起こってきます。

一つは少子化が二気に進みます。二つ目は財政赤字。三つ目は、情報化が進みますから、世論が感情的になつて、しかも利那主義になつてゆきます。これによつて精神的な劣化が始まつて、まともな政策論議ができなくなります。四つ目はモラルの崩壊です。おかしい事件がいつぱい起こります。この四つの問題は、ポスト先進国状態になつたとき、各国が共通して経



験してきたことです。

アメリカもこの経験をしておりまふ。一九二〇年代のアメリカはバブルの時代です。わずか十年間でGDPが三倍から四倍に膨脹しました。しかし一九二九年、バブルがはじけて世界恐慌となり、アメリカ人の三割が失業者となり、出生率は下がり続けました。ところが、アメリカは「瞬にして甦りました。先進国各国には、その文明

構造による甦りのパターンがそれぞれあります。このことが今日の話の趣旨でもあります。

アメリカの出生率の改善に貢献したのは我が国です。真珠湾攻撃によつて、アメリカは第二次世界大戦の主役に躍り出ることになりました。若者は戦場へ駆り出されますが、自分はどうなことがあつても生きて帰るといふ決意から、結婚する若者が増えて出生率も上がりました。人間というものは、生死の大きな分かれ目に立つたときに、人生の本質というものを見出します。

アメリカは戦争によつて文明のエネルギーを再生させていくという特異な国です。アメリカ文明の中に、戦いのエネルギーというもの、生命力、社会の発展力、活力というものが、どこかで地下水脈となつて繋がっているようです。

フランスの場合はどうだったかというところ、これがまた大変フランスらしいのです。フランスは革命の国です。政治が大きく指導力を発揮したときに、一気に国が変わります。ドゴール大統領が登場して、アメリカやイギリスに唯々諾々として従つていたフランスは、やめにする。自主独立の外交をするのだというところで「ドゴール主義」

中西輝政氏をお招きし、 日本再生へ向けて胎動し



と呼ばれるような自国の座標軸というものをしっかり立てました。なかんずく、ドゴールさんは熱心なカトリックですから、家族の価値ということを強く言ったわけ

です。当時のフランスは今よりもっと左翼的で、個人主義を重んじるといった時代風潮でした。ところがドゴール大統領は、家族が大切であるということを出し、家族というものの目がい

つたときに、衰えている精神の活力、価値観、そういうものの座標が正される方向へ動き始めたのです。ポスト先進国になり、過度に個人主義に傾くと家庭崩壊が始まります。それが起こったときに、意識してそれをもう一回押し戻します。時計の振り子が極端にまで行くと、必然的に振り戻すものです。人間の歴史は一見、進歩の歴史のように見えますが、満つれば欠くる月と同じです。極限まで行くと、元の方向へ戻らざるを得ません。そうしないと物事は続かないわけですね。

戦後の日本は、隆々たる経済成長を目指して二つの方向に突き進んでまいりました。しかし今日の日本においては、ポスト先進国として、そして日本としての精神と戦略を持つてその方向を修正しなくてはならない時期にきています。これが本当の先進国になった

国の生き方なのです。いまの日本人はまだこのレベルに達していないと思います。

私たちが充実感を持つて、澁刺たるエネルギーを発揮するには、モノと心のバランスが大切です。高度成長が終わってバブルが始まった時期は、完全にモノ・カネ文明の日本でした。その皺寄せが今の若い世代に至り、それが「モラルの崩壊」に繋がりました。

日本固有の文化、伝統を重んじながら、その中で子どもを生んで家族をつくり、会社のため、あるいは友人・知人たちの絆を重んじる。そこに人間なり国の発展の非常に大事なポイントがあります。人間というのは、自分のためだけに集中していると、仮に百分の力を出したとしても知れたものです。個人の自立だけが一方的に強調された教育ではなく、家族のために頑張る、あるいは会社のため、そして大きくは国のためにやってみようとする気持ちがあるという状態になったときに、めざましい発展をするものです。

バランスというものは生命力の根幹です。あらゆる生物はみんなバランスによって生きています。国家や社会もその例外ではありません。特に日本人、一人一人が、家族や地域、そして国家という大き

な集団との間にどれだけ一体感を持てるか、ここに日本の発展がかかっているだろうと私は思います。

二〇〇五年に、自由民主党は憲法の改正という重大なテーマに果敢に取り組まれます。これは日本の甦りの大きなきっかけになると思います。

同時に、教育というものが非常に重要な意味を持つてきます。教育の理念である教育基本法の中に、人間の生き方、日本人の大切な価値観というものはつきり謳わなければ教育は成り立ちません。日本国憲法の第一条に、皇室は日本の国の中心であると書いてあります。この教育理念をしっかりと持たせ、そして何よりも歴

史観というものを正さなければ、まともな日本人が出てくるわけがありません。

憲法、教育基本法、こういった戦後日本の大きな歪みを正して、日本人の持っている脈々たる地下水脈を掘り起こしてゆき、文明のエネルギーが横溢する国家へと変貌させて頂きたいと思っております。ご清聴ありがとうございます。(拍手)



中西 輝政 なかにし てるまさ

1947年 大阪生まれ／京都大学 教授

学歴

京都大学法学部卒業ののち、同大学大学院修士課程(国際政治学専攻)修了
英国ケンブリッジ大学歴史学部大学院(国際関係学専攻)修了

職歴

京都大学法学部助手／ケンブリッジ大学客員研究員
三重大学文学部助教授
米国スタンフォード大学客員研究員
静岡県立大学国際関係学部教授
1995年より、京都大学総合人間学部教授(京都大学大学院・人間環境学研究科教授を兼任)

著書

「大英帝国衰亡史」「国まさに滅びんとす」「なぜ国家は衰退するのか」「イギリスの智慧」「憲法改正」「日本の『敵』」「いま本当の危機が始まった」「日本の『死』」「国民の文明史」ほか多数

幹事長として として寸暇を惜しみ東奔西走… 実践躬行することで着実な成果を実らせる!



自民党役員会



全国幹事長会議



自公政権合意調印式(平成15年11月18日)



両院議員総会を終えて
(平成15年10月10日)



第70回 党大会(平成16年1月16日)

の“顔”として参加、好印象に加えて、その存在感が光る



井上和香さんと



第1回は一とふるメッセージ
菊川 怜さんと



りぶる対談にて
国仲涼子さんと

中央政治大学院インターネット講座



党の運営、舵取り、そして党の代表

党の改革、若手の育成と掲げた目標に対しては、



福井県集中豪雨視察

参院選ポスター
打ち合わせ及び撮影新年木遣り風景
(平成16年1月8日)

煎茶道に親しむ会



統一補選結果を受けての会見

あらゆる行事に対する要請にも責任者として、そして党

創美流華道家元代行
渡邊華靖氏とアテネ五輪銀メダリスト
アーチェリーの山本先生と日米さくらの
女王と八丈島
フリージア娘と

国会一瞥



—衆議院予算委員会—

—衆議院本会議—



番匠イラク派遣隊長帰国報告



イラク・イラン救援募金活動

国際紛争問題に対して、日本国として貢献できる姿勢を自ら示す



パウエル国務長官と



ラムズフェルト国防長官と



ライス大統領補佐官と



ノムヒョン大統領と



「冬のソナタ」に出演した
パクヨンハさんと

平成16年
4/28～5/3
訪米

党の代表として米国、韓国へ訪問

平成16年
8/31～9/2
訪韓



平成15年
10/1

ケリー米国務次官補との会談



平成15年
12/10

ファン・バンカイ ベトナム首相との会談



平成16年
2/12

韓国安保会議・事務次長との会談



平成16年
2/12

中国外交部副部長との会談



平成16年
2/13

パレスチナ大臣との会談



平成16年
4/6

中東大使との会談



平成16年
6/4

インドネシア外相との会談



平成16年
7/22

ボルトン米国務次官補との会談



平成16年
8/2

韓国ウリ党役員との会談



平成16年
9/6

スーダン外務大臣との会談

幹事長を訪れる各国要人の方々

前進はしているものの、未だ出口の見えぬ拉致問題

頼るはやはり安倍さん!!



拉致対策本部初会合



拉致対策本部長として、拉致被害者家族との面談



蓮池薫さん夫妻と面会
(平成16年2月8日)



地村保志さん夫妻と面会(平成16年2月7日)



曾我ひとみさん親子と面会
(平成16年2月8日)

9月26日拉致問題全面解決に向かって山口県民大会Ⅲ(下関市民会館)が行われた壇上において、代議士は断固たる決意を持って交渉に臨むことを約束!

「世論の後押しが国を動かす力となります」と訴える横田さん



拉致対策本部長として、脅しに屈せず毅然とした態度を貫くことで未帰還者全員救出の早期実現を力説!



参院選!!

酷暑の中、候補者の要請に応え
全国遊説へ——国状を訴える



9月27日発表された
第二次小泉内閣組閣・
自民党人事において
幹事長代理、そして新設された
総裁直属の党改革実行本部長に
就任しました。

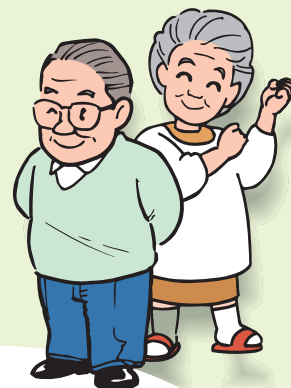
健康フロンティア戦略

メディカルフロンティアから健康フロンティアへ

私が社会部会長のときに策定しました「メディカル・フロンティア戦略」は、次世代の先端科学及び医療・医術を国民の健康のために重点投入し、働き盛りの国民にとっての二大死因である「がん」「心臓病」への挑戦と、寝たきりや痴呆にならない健康な高齢期を目指す総合的な戦略です。今回、与党では「メディカル・フロンティア戦略」をバージョンアップし、「健康フロンティア戦略」を策定し、重点政策としました。

健康フロンティア戦略の目指すもの

健康フロンティア戦略は単なる長寿ではなく、健康で自立して暮らすことのできる期間である「健康寿命」を10年間（平成17年から平成26年）で2年程度のばすことを目標として、働き盛り層、女性層、高齢者層、健康寿命をのばす科学技術の振興の4つの作戦で国民各層の不安にこたえます。



10年間の数値目標を立てて政策を推進します

健康寿命をのばす！ —10年間で2年程度—

生活習慣病対策

が ん……………5年生存率を20%改善
心疾患……………死亡率を25%改善
脳卒中……………死亡率を25%改善
糖尿病……………発生率を20%改善

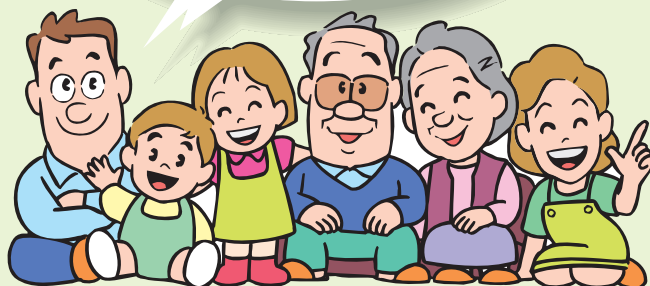
介護予防

現在の「7人に1人」を「10人に1人」へ

わが国の平均寿命と健康寿命
いずれも世界一!!

平均寿命 男78.4歳／女85.3歳

健康寿命 男72.3歳／女77.7歳



働き盛りの健康安心プラン

- 個人の行う「健康づくり」への支援
- 検診データに基づく継続的な健康指導の実現
- 迅速な救命救急と専門診断治療の確保
- 身近な地域で安心リハビリ

女性のがん緊急対策

- 「女性のがん」への挑戦
乳がん対策と子宮がん対策
マンモグラフィの整備など
- 女性の生涯を通じた健康支援

介護予防10カ年戦略

- 家庭や地域で気軽に介護予防
- 効果的な介護予防プログラムの開発・普及
- 骨折予防対策の推進
- 脳卒中対策の推進
- 地域で支える「痴呆ケア」

健康寿命をのばす科学技術の振興

- 基盤的技術と最先端技術の研究開発
- 介護現場を支える技術の開発普及
- 医療現場を支える技術の開発普及
- 国民の自己選択を可能とする評価と公表



地元後援者も喜んだ！ 幹事長としての一年間、本当にお疲れさまでした。

幹事長就任後、初の地元入り—
多くの方々に歓迎されました。

平成15年
10月26日(日)



父 晋太郎先生の墓前へ就任の報告

長門市・大津郡での激励会



豊浦郡での激励会



下関市での激励会



自由民主党 幹事長 激励会



挙!

第43回衆議院議員選挙

2003年10月28日公示／11月9日投票



本人不在のまま
昭恵夫人による出陣式!



昭恵夫人、八面六臂の大活躍!



第43回衆議院議員選挙 山口県第四選挙区 得票一覧表

平成15年11月9日



市町村名	有権者数	投票者数	投票率(%)	あ べ	有効得票率(%)	小 島	池之上
下関市	200,890	124,003	61.73	93,342	77.22	16,027	11,500
長門市	19,526	13,756	70.45	11,677	86.26	1,352	508
菊川町	6,815	4,928	72.31	4,074	84.24	506	256
豊田町	5,749	4,367	75.96	3,469	81.22	461	341
豊浦町	16,859	11,941	70.83	9,497	80.62	1,286	997
豊北町	11,066	8,396	75.87	7,026	85.40	765	436
計	40,489	29,632	73.19	24,066	82.66	3,018	2,030
三隅町	5,200	3,977	76.48	3,516	89.95	259	134
日置町	3,760	3,121	83.01	2,762	89.44	218	108
油谷町	7,071	5,555	78.56	4,984	91.12	328	158
計	16,031	12,653	78.93	11,262	90.33	805	400
市 計	220,416	137,759	62.50	105,019	78.14	17,379	12,008
郡部計	56,520	42,285	74.81	35,328	84.96	3,823	2,430
四区計	276,936	180,044	65.01	140,347	79.75	21,202	14,438

第20回参议院議員選挙

2004年6月24日公示／7月11日投票

自民党逆風の中、 見事初当選!

実弟・岸のぶお候補の
初当選へ向け、
各地で力強い応援をする。



弟、岸のぶおを 宜しくお祈ります!



昨年の参议院選挙におきましては、皆様より力強いご支援を頂戴いたしました。お陰様で、逆風吹き荒れる中での厳しい選挙を戦い抜くことが出来ました。心より御礼申し上げます。

熱い日差しの照りつける中、また大雨の中を駆け寄って応援して頂いた皆様のお心をしっかりと受け止め、より良い社会、誇りうる国づくりに全力で取り組んで行くことをお誓い申し上げます。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

参议院議員 岸信夫

選



多忙を極める選挙期間中、
総決起大会にお国入り!
唄れた声を振り絞り国政を訴える。



開票開始後、全国でいっしょに
“当確”が報道される。





県宅建協会下関支部新年会に出席



初セリ

一年の始まりは今年も地元からスタート。
集まる人、人に笑顔で応える。



初詣

岸 信夫参議と



下関市消防出初式



応 援 メ ッ セ ー ジ

Vol.1

安倍晋三後援会会長 伊藤昭男

私たちが後援会は、誇りをもつて二十一世紀の日本を担う政治家・安倍晋三代議士を支援してまいります。

どのような立場になられても、これまで同様に選挙に対して厳しく取り組んでおられる代議士の姿に、強い意思を感じ、私自身心打たれ「よしやるぞ」と強い気持ちになったことを覚えております。今回の党人事により、幹事長を退任されましたが、これまでの経験と実績を生かされ国のため、地元のために「一層」活躍されるものと信じております。

選挙をひかえた二ヶ月前の十月初旬のある夜、私の携帯電話が鳴り、出てみますと「会長、こんばんは安倍です。選挙になつても帰れません。どうか宜しくお願いたします。」と代議士ご本人からの電話でした。

初めての選挙となった昨年の衆院選では、当然候補本人は全国遊説のため不在となり、地元は幹事長に相応しい選挙を戦わなければならないと、陣営に不安と緊張感が走りました。

私に執りまして、後援会長としての初めての選挙となった昨年の衆院選では、重責を担い、特に二度の国政選挙を党の顔として先頭に立って頑張られ、見事にその大任を果たされました。

私が後援会会長をお引き受けさせていただき、早いもので二年以上が経過いたしました。

この間、いろいろな出来事があり、その中でも安倍自民党幹事長の誕生は、我々後援者のみならず国民みんなが驚きと喜びに包まれました。

それから二年、代議士は幹事長という重責を担い、特に二度の国政選挙を党の顔として先頭に立って頑張られ、見事にその大任を果たされました。





大好きな夏! 大好きな祭り!

今年も郷里で、皆さんと和やかに触れ合うことができました。

ふるさと

油谷町夏祭りにて



子供たちから
熱いまなざしを受ける

油谷町 ふるさと祭りにて 《ラポールゆや》



数方庭まつりにて



海峡花火大会にて



長門ふるさと祭りにて 《長門市役所前》



同志会 発会式



同志会 役員との懇親会



油谷町青年部の皆さんと



長門商工会議所青年部の皆さんと



渡場の皆さんと



斎木病院の先生と



市町村合併を目前に、油谷町としての最後の成人式へ出席



郷里を気につけて、
帰郷した折には自らの足で隈なく視察
その姿勢はいつどんな時でも変わらない。



大きな被害をもたらせた台風18号、
災害現場を視察する。〔吉見・安岡〕



吉見

安岡



王喜松屋乾燥施設へ視察



下関行政書士会の皆さんと



女性部代表者会議にて

あーっ!この瞬間、この笑顔

この子たちの未来のために私は頑張る、いや頑張れるのだ!





大好きな子供達に囲まれて、自然に笑顔が溢れます。(みそら保育園にて)



体を動かすのは
大好きです！



下関市なぎなた連盟会長として
(長府にて)

皆様、
ありがとうございます。

主人も50歳になり、私も42歳。
あつという間のように、本当にい
ろいろなことがあったこの十数年。
多くの皆様に勇気を頂き、たく
さんのことを学ばせて頂きました。
いつも暖かいご指導・お励ま
しを頂いている皆様、本当にあ
りがとうございます。

私は主人と結婚したおかげで、
たくさんの方々にお会いでき、様々
な経験をすることができ、ことに
感謝しています。これからも
私らしく、のんびりとやっつけい
きたいと思いますので、どうぞよろ
しくお願い致します。

安倍 昭恵

なかべ学院
五月祭にて



いちご狩り!新鮮で瑞々しい
いちごを頂きました(王司にて)

田んぼの学校(王司にて)





海峡のまちを担う下関港

あべ晋三
地域社会に貢献



下関の二つの構造改革特区について

また、「下関地区水産業活性化特区」が山口県と下関市の共

同提案により、沖合漁業を主体に水揚げされる「漁港市場」、市内の観光施設として集客力をもつ「唐戸市場」、全国二のフグ集散地である「南風泊市場」の三つの市場のそれぞれの市場のもつ特性を生かした市場機能の再編、強化を進めるため規制緩和等についての特区が提案されました。これにより、漁港市場を「拠点市場」、唐戸市場を漁港市場の「サテライト市場」に、南風泊市場を「専門市場」に再編し、セリ機能の集約や仲買人の共通化をはかり、さらに観光客を対象とした小売機能を充実させ、水産業の活性化を推進しようとするもので、このため民間事業者が漁港内の市場と一体的、効率的な運営ができるよう、今までできなかった県等の漁港施設、用地を民間事業者に貸し付けることが可能になるような規制緩和を提案しており、十一月中旬に国から認定を受ける見込みとなっております。

下関においては平成十五年四月、下関港の利用促進を目指した「下関市・東アジアロジスティクス特区」が国の第二次認定を受けました。これにより特区は平日夜間と土日曜、祝日の税関手数料が半額となり、港をもっと利用してもらえようになり、港の活性化にとって大きなプラスになります。市では今後は、税関だけでなく、検疫や入管などの体制づくりを進め、利用しやすい物の集まる港を目指しています。

二十一世紀に入って、内外情勢は極めて急テンポに変貌を続ける中であって、我が国は戦後半世紀以上の間における仕組みや制度等を総ざらいし、日本の再生と発展のための改革を進めつつあり、その一環として、「構造改革特区」があります。

また、「下関地区水産業活性化特区」が山口県と下関市の共同提案により、沖合漁業を主体に水揚げされる「漁港市場」、市内の観光施設として集客力をもつ「唐戸市場」、全国二のフグ集散地である「南風泊市場」の三つの市場のそれぞれの市場のもつ特性を生かした市場機能の再編、強化を進めるため規制緩和等についての特区が提案されました。これにより、漁港市場を「拠点市場」、唐戸市場を漁港市場の「サテライト市場」に、南風泊市場を「専門市場」に再編し、セリ機能の集約や仲買人の共通化をはかり、さらに観光客を対象とした小売機能を充実させ、水産業の活性化を推進しようとするもので、このため民間事業者が漁港内の市場と一体的、効率的な運営ができるよう、今までできなかった県等の漁港施設、用地を民間事業者に貸し付けることが可能になるような規制緩和を提案しており、十一月中旬に国から認定を受ける見込みとなっております。



フク集散地「南風泊市場」



人々が集い憩う「唐戸市場」



漁港市場

新春の
集い

平成16年1月8日



催された華やかなイベントの数々

お知らせ

平成17年「あべ晋三新春の集い」が右記の日程で開催されます。詳しくは最寄りの後援会事務所へお問い合わせください。

1/22(土) 11:00～「豊浦郡新春の集い」〈夢が丘スポーツセンター〉
14:00～「長門・大津新春の集い」〈白木屋グランドホテル〉
1/23(日) 11:00～「下関新春の集い」〈海峡メッセ下関●展示見本市会場〉